

# 「ホワイト物流」推進運動

## 持続可能な物流の実現に向けた自主行動宣言

企業・組合名	役職	氏名	所在地	主たる事業	ホームページ
昭和電工HD山形株式会社	代表取締役社長	石川二郎	山形県	製造業	<a href="https://www.sdk.co.jp/about/network/group/shdy.html">https://www.sdk.co.jp/about/network/group/shdy.html</a>

当社は、「ホワイト物流」推進運動の趣旨に賛同し、以下のように取り組むことを宣言します。

最終更新:	2020年4月16日
-------	------------

(取組方針)

・事業活動に必要な物流の持続的・安定的な確保を経営課題として認識し、生産性の高い物流と働き方改革の実現に向け、取引先や物流事業者等の関係者との相互理解と協力のもとで、物流の改善に取り組みます。

(法令遵守への配慮)

・法令違反が生じる恐れがある場合の契約内容や運送内容の見直しに適切に対応するなど、取引先の物流事業者が労働関係法令・貨物自動車運送事業関係法令を遵守できるよう、必要な配慮を行います。

(契約内容の明確化・遵守)

・運送及び荷役、検品等の運送以外の役務に関する契約内容を明確化するとともに、取引先や物流事業者等の関係者の協力を得つつ、その遵守に努めます。

No.	分類番号	取組項目	取組内容
1	A ①	物流の改善提案と協力	取引先や物流事業者から、荷待ち時間や運転者の手作業荷卸しの削減、附带作業の合理化の要請があった場合は、真摯に協議に応じると共に、自らも積極的に提案します。
2	A ③	パレット等の活用	パレット等を活用し、荷役時間削減に努めます。
3	A ④	発荷主からの入出荷情報等の事前提供	発荷主として貨物を発送する場合、入出荷場情報を早めに提供します。
4	A ⑧	出荷に合わせた生産・荷造り等	出荷時の順序や荷姿を想定した生産・荷造り等を行い、荷待ち時間を短縮します。
5	A ⑬	発注量の平準化	荷待ち時間を短縮すると共に、運行効率を向上させる為、曜日別・月別等の繁閑差(バラツキ)を平準化します。
6	A ⑭	船舶や鉄道へのモーダルシフト	当社製品の国際輸送を航空から海上に切り替える事で、環境負荷軽減を目指します。
7	B ①	運送契約の書面化の推進	運送契約の書面化を推進します。
8	B ③	燃料サーチャージの導入	物流事業者から燃料サーチャージの導入についての相談があった場合には、真摯に協議に応じます。
9	C ①	契約の相手方を選定する際の法令遵守状況の考慮	契約する物流事業者を選定する際には、関係法令の遵守状況を考慮します。
10	C ②	働き方改革等に取り組む物流事業者の積極的活用	働き方改革や輸送の安全性の向上等に取り組む物流事業者を、積極的に活用します。
11	D ①	荷役作業時の安全対策	荷役作業時の労働災害を防止すべく、安全な作業手順の明示・安全通路の確保・足場の設置等、対策を講じます。
12	D ②	異常気象時等の運行の中止・中断等	台風・豪雨・豪雪等の異常気象時(若しくは、その発生が予見される際)には、無理な運送依頼を行いません。又、物流事業者が、運転者の安全確保の為、運行中止・中断が必要だと判断した場合、その判断を尊重します。
13	F ①	積載効率の改善	関係法令遵守の上、積載物の形状・重量・個数等を工夫し、積載効率の改善を目指します。

PR欄	当社は昭和電工グループの一員として、企業の社会的責任(Corporate Social Responsibility)の取り組みを推進しております。物流事業者をパートナーとして尊重し、相互に強固な信頼関係を構築すると共に、社会・環境に配慮した事業活動を、協働で進めて参ります。
-----	--